



■竹宵まつりでキャンドル作りを実施!

「でんきを消してスローな夜を」をスローガンに、地球やエネルギーのことに考えるきっかけとしてもらうことを目的に、「竹宵まつり 百万人のキャンドルナイトin南信州」が5月26日(土)に開催されました。

豊かな環境づくり飯伊地域会議では今年も「親子環境体験学習会2018」を開催し、廃食用油キャンドル作りを行いました。またエコクイズも合わせて実施し、クイズに全問正解したみなさんにアルクマのエコバッグをプレゼントしました。



キャンドル作りではごみになってしまう廃食用油がカラフルなキャンドルになり、子どもたちが楽しそうに作成しているのが印象的でした。暗くなってから火を灯すと優しい明かりが辺りを照らし、多くの人が足を止めて見入っていました。

エコクイズは子どもだけでなく大人も大勢参加し、真剣な表情でクイズに答えていました。参加後のアンケートでは「勉強になった」「ごみを減らすために自分でもできることに取り組みたい」といった感想をいただき、ごみの更なる削減に向けて意識を高めていただけたようです。

キャンドル作り、エコクイズともに大盛況で、多くの人が環境について考える良いきっかけになったのではないかと思います。

■ごみ排出量の削減にご協力ください

環境省が公表している一般廃棄物処理事業実態調査(平成28年度実績)の調査結果で、長野県は1人1日あたりのごみ排出量の少なさが3年連続で日本一になりました。

今回の調査結果で、長野県の1人1日あたりのごみ排出量は「822g」で前年より14g少なくなりました。南信州地域では県内3位に泰阜村(336g)、5位に平谷村(386g)が入るなど10位以内に7町村が入り、地域全体では641gでした。これは県全体の数字を181gも下回っています。皆さまのおかげで、このような結果が出ています。ご協力いただきありがとうございます。

南信州地域ではレジ袋削減推進協議会による「レジ袋削減スクラム運動」や「食べ残しを減らそう県民運動～eプロジェクト～」登録店の協力により、ごみ排出量の更なる削減を目指しています。私たちにもできることをまとめてみました。

ごみを減らすためにできること

- ・買い物時にマイバッグを持参する
- ・飲食店では食べきれぬ分を注文する
- ・生ごみは水気をきり、乾燥させて捨てる

長野県全体においても目標としている795gまで、あとミニトマト1個分です!ほんの少しの工夫でごみの量は減らせます。皆さまのご協力をお願いいたします。



目標まであとミニトマト1個!

ご協力をお願いします

長野県リサイクルキャラクター
“クルるん”

■ 環境関係推進員の委嘱状況



平成30年度は、不法投棄監視連絡員15名（任期1年）、自然保護レンジャー8名（任期3年）の各環境関係推進員が委嘱されました。

不法投棄監視連絡員の皆さんには、毎月8時間を目安に、担当地域のパトロールをしていただいています。これまでのところ大きな不法投棄事案の報告はありませんが、地域の生活環境を美しく保つためには今後も不法投棄を許さない活動が重要です。

皆さまも、万が一不法投棄等を見かけたら、市役所や町村役場、南信州地域振興局環境課まで通報をお願いします。

自然保護レンジャーは継続の7名に加えて今季から新たに1名が加わり、8名での活動が始まりました。

レンジャーの方からは、近年自然公園を訪れる方のマナーが向上している、という報告が寄せられています。一方で外来生物の生息域拡大や動物による食害などがここ数年拡大しており、新たな形での自然環境保全の課題も報告されています。

美しい自然を守るために、皆さまも自然公園などを訪れる際は、引き続きマナー遵守にご協力ください。

各環境関係推進員の中で、他の推進員の方とも話がしてみたいなどのご要望がありましたら、南信州地域振興局環境課までご連絡ください。

■ お知らせ

自然保護レンジャーの追加募集を実施中

第7期自然保護レンジャーの追加募集が8月1日より開始されました。

任期は任命された日から、2021年の5月31日までとなります。

年間10日程度活動できることなどが資格となっていますが、条件を満たせばどなたでも申し込むことができます。自然保護レンジャーとして休みの日などに活動してみませんか？

申し込みをされる方は、申込書に必要事項を記載のうえ、地域振興局環境課までお送りください。

応募資格等の詳細や申込書は県環境部自然保護課のホームページに掲載されています。

県環境部 自然保護課 ホームページURL

<https://www.pref.nagano.lg.jp/shizenhogo/kurashi/shizen/shizen/ranger.html>

投稿をお待ちしています

元来、環境関係推進員の皆様からの投稿をもとに編集委員会にて編集し、年4回を目標に発行しておりました本紙ですが、投稿の減少に伴い、行政からのお知らせが中心となり、発行回数も年2回程度となっています。

現場の生の声を掲載できると、より臨場感と読み応えがあり、お互いの活動の参考となる紙面がお届けできることと思います。

ぜひ、環境関係推進員の皆様の情報の交換にご活用いただき、活発なご投稿をお願いします。

投稿していただく際の字数は概ね800字程度まで、可能な限り写真（公開しても法的に問題のないもの）を添付してください。記事は郵送、FAXのほか、電子メールでも受け付けています。積極的な投稿をお待ちしております！

■ 編集担当者から

今年度から編集担当者を変更となりました。これまでの南信州環境ネットが積み上げてきたものを引き継ぎつつ、さらに良い形にして皆様にお届けしていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いたします。